

中村小図書館だよ!

令和7年10月号
多古町学校司書



10月に入り、さわやかな風が吹くようになりました。落ち着いて何かに取り組むのにぴったりな季節です。「読書の秋」・・・虫の音を聞きながらお気に入りの本を探してみませんか？



としょかん ふたい ほん
図書館が舞台の本
としょかん はじ ものがたり
図書館から始まる物語



『ビバリーとしょかんへいく』 アレクサンダー・スタッドラー(作) まえざわあきえ(訳) 文化出版局

図書館で借りてきた本の面白さに返却日を忘れてしまったビバリー。返却日を過ぎてしまったらどうなるのでしょうか。友達が言うように、まさか牢屋に入れられちゃうの？？ドキドキしながら読める絵本です。

『としょかんライオン』 ミシェル・ヌードセン(さく) ケビン・ホークス(え) 福本友美子(やく) 岩崎書店

いつも静かな図書館に突然ライオンが現れ、みんなは大あわて。でも、お行儀のいいライオンは、すぐにみんなと仲良しに。そして人気者になります。ところがある日、ライオンがある事件を起こしてしまって…。

『あづきの絆 ぼくが図書室で出会った妖怪』 高森美由紀(作) 岩崎書店

転校先の小学校でクラスになじめない蓮が、図書委員の野田くん、そして妖怪小豆洗いと出会います。そんなある日、妖怪たちのお祭りにクラスのいじめっ子2人が…。はたして蓮はどうするでしょう。

※今月の「新聞を読んでクイズに答えよう！」はお休みします。



10月27日から11月9日は読書週間です。

〈読書週間のはじまりは?〉

終戦2年後の1947年に「読書の力」によって平和な文化国家をつくろう」という決意のもとに、たくさんの人々の力で第1回読書週間が開催されました。

今年の標語は

こことあたまの、深呼吸



としょしつ あき とくしょしうかん
図書室の「秋の読書週間」

とくしょしつ への取り組み

今年度も「図書室bingo」に挑戦します。

bingoカードが完成したお友達には、素敵なしおりをプレゼントします！たくさん本をよ読みましょう。



◆ 本でコミュニケーション ◆

★おすすめの本★ (図書委員会書記 内藤陽葵さんのおすすめ)

『5万年後に意外な結末 プロメテウスの紅蓮の炎』

たくさんの物語が一冊にまとまっていて、すべての話がありえない方向に進んでいくので、どのような形で完結するかが楽しみになります。始めと終わりに漫画で描かれた部分があり、特に最後にプロメテウスが見てきた事実を聞くゼウスの姿が…図書室にありますので、ぜひ読んでみてください。

